

自己評価報告書

平成 23 年 5 月 10 日現在

機関番号：32658

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2008～2011

課題番号：20780027

研究課題名（和文） 近代日本における洋風庭園の様式形成過程と空間デザインに関する研究

研究課題名（英文） Study on Style Formation of Western-style Garden and its Space design in Modern Japan

研究代表者

粟野 隆（AWANO Takashi）

東京農業大学・地域環境科学部・助教

研究者番号：20393374

研究分野：農学

科研費の分科・細目：園芸学・造園学

キーワード：近代庭園、洋風庭園

1. 研究計画の概要

本研究の全体構想は、明治・大正・昭和戦前期（1868～1945）に築造された「近代庭園」について、その様式形成過程と空間デザインの特徴をとりまとめ、系統的な通史、すなわち、「近代庭園史」として全体像を整理することである。近代庭園の様式には、1.洋風庭園、2.和風庭園、3.近代主義（国際様式）庭園、の大きく3タイプをあげることができる。

本研究の全体計画は、これら3つの庭園様式の形成に関して、庭園の欧化という意味での「近代性」が明快にみとれる「洋風庭園」を研究対象として、明治維新後における西洋庭園のわが国への導入から、洋風庭園として様式を確立するに至るまでの経緯と過程、および洋風庭園の構成・意匠の時代的変遷に着目した空間デザインの特徴を明らかにしてゆくものである。

2. 研究の進捗状況

本研究では、以下の4点について進捗よくを報告する。

(1) 洋風庭園の黎明

幕末から明治維新後にかけて導入された西洋庭園が、いかなる解釈のもとに「洋風庭園」として導入されたのかという点について、海外渡航者の西洋庭園観、外国人居留地に造営された住宅やホテルの庭園について文献調査と現地調査（函館、長崎等）をすすめて、洋の空間に和の要素が異様に混在した「擬洋風庭園」とでもいうべき様式が形成されていた点を明らかにした。

(2) 洋風庭園と近代東京

近代東京に形成された和洋折衷式の洋風庭園については、その空間デザインの特徴として「芝庭」という芝生園地と曲線園路を主

体とした様式が形成された点について明らかにしており、その形成にかかる時期的動向についても明治17年の華族令と大きく関係しているという推論を得た。また、明治後期から大正期に登場した「和洋併置式庭園」については、文献調査と現地調査から旧古河邸と旧岩崎邸（高輪邸）について事例分析をおこなった。

(3) 洋風庭園と近代別荘地

近代別荘地への洋風庭園の地域的伝播については、宮内省内匠寮の造園技師・小平義近の設計した庭園作品を中心に分析をおこない、これまで、日光、熱海等の近代別荘地の洋風庭園について事例研究を実施した。これらはおもに、古写真と残存図面の分析によるものである。

(4) 洋風庭園と郊外住宅地

明治末期以降、多数の郊外住宅地開発がおこなわれ中流階級の住宅庭園の登場が、この点は特に六甲および阪神間に形成された住宅庭園について、近代造園家の橋本八重三と椎原兵市の諸活動から把握を試みているところである。今後は、住宅改良運動のなかで庭園設計のコンセプトとして提起された「実用主義」の庭園や「小庭園」にスポットライトをあて、芝生、テラス、花壇などで構成された小規模洋風庭園の実像を把握していく。

3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している。

(理由)

研究に着手した当初から、研究対象を絞り、効率的に調査を推進することができた。また、今回の研究助成で、貴重な文献資料（古写真、図書等）を収集することができ、その分析・考察が格段に進展した。

4. 今後の研究の推進方策

今後は、特に大正期から昭和初期に顕在化した住宅改良運動に着目し、「実用主義庭園」や「小庭園」についての分析考察をおこなう。また、昭和初期における東京の洋風庭園の到達点と考えられる目黒区・旧前田侯爵邸の造園プランについて設計上の特色を整理する。

また、これまでの研究成果を体系的に整理し、報告書を作成する。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計5件)

正田実知彦・鈴木誠・服部勉・粟野隆、暖依村荘庭園の構成と意匠に関する復元的考察、ランドスケープ研究 74 巻 5 号、査読あり、2011 年(掲載決定)

粟野隆・丸山宏、近代日本の擬石擬木製作法、造園技術報告集 6 号、査読あり、2011 年、pp.140-143

粟野隆、近代の庭園 632 号、歴史と地理、査読無し、2010 年、巻頭図版および pp.18-27

粟野隆、古河家の邸宅と旧西ヶ原本邸の庭園、日本庭園学会誌 21 号、査読無し、2009 年、pp.30-35

粟野隆、近代的庭園デザイナー・小平義近とその作品、日本庭園学会誌 19 号、査読無し、2008 年、pp.65-70

[学会発表](計4件)

粟野隆、ランドスケープ遺産インベントリーづくりに向けた課題、日本造園学会東北支部大会、2010 年 10 月 23 日、宮城大学

粟野隆、洋風庭園と日本近代、奈文研公開講演会、2008 年 10 月 25 日、奈良文化財研究所

粟野隆、近代日本の洋風庭園 その空間デザインの系譜、京都造園懇談会、2008 年 8 月 19 日、京大会館

粟野隆、庭園史、平成 20 年度日本造園学会全国大会ミニフォーラム企画「ランドスケープ研究 歴史・原論分野の今とこれから」、2008 年 5 月 24 日、北海道大学

[図書](計3件)

河原武敏ほか、東京都公園協会、龍馬ゆかりの人々と5つの都立文化財庭園物語(東京都公園協会平成 22 年度特別企画展図録)、2010 年、全 38 ページ(p.21)

武田史朗ほか、学芸出版社、テキストランドスケープデザインの歴史、2010 年、全 199 ページ(p.67)

岡本哲志ほか、求龍堂、一丁倫敦と丸の

内スタイル、2009 年、全 127 ページ(pp.36-37)

[その他]

粟野隆・木下剛、特集「ランドスケープ遺産インベントリーづくりの現在 地域活動から全国展開に向けた現状と課題」にあたって、ランドスケープ研究 74 巻 4 号、査読無し、2011 年、p.267

池尻あき子・粟野隆、全国に所在する「ランドスケープ遺産」の把握と一覧作成のための事例募集について(中間報告)、ランドスケープ研究 74 巻 4 号、査読無し、2011 年、p.309

池尻あき子・粟野隆・葉山嘉一・高橋靖一郎・金子隆行・霜田亮祐、日本造園学会関東支部「参加者の拡大と多様な交流を深める新たな試み」、ランドスケープ研究 74 巻 4 号、査読無し、2011 年、p.325-327

粟野隆、旧前田邸の庭園の見どころと特徴、東京都教育庁ガイドボランティア養成講座(招待講演)、2011 年 2 月 19 日、旧前田侯爵家駒場本邸洋館 集会室

粟野隆、大正モダニズムと公園の展開 近代造園の誕生、江東区文化コミュニティ財団豊洲文化センター講座(招待講演)、2010 年 6 月 18 日、江東区豊洲文化センター

粟野隆、「旧古河庭園」によせて、日本庭園学会ニュース 59・60 合併号、査読無し、2008 年、pp.6-8